

外付け架構による耐震補強 スマートピタ工法

中日本ピタコラム工法協会

〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵3-19-7

TEL 052-935-2406 FAX 052-935-2155

URL <http://www.pita-kyoukai.jp/>

[その他の拠点] 東日本ピタコラム工法協会

〒104-0043 東京都中央区湊2-2-5

西日本ピタコラム工法協会

〒540-0034 大阪市中央区島町2-1-10

TEL.03-3552-2315

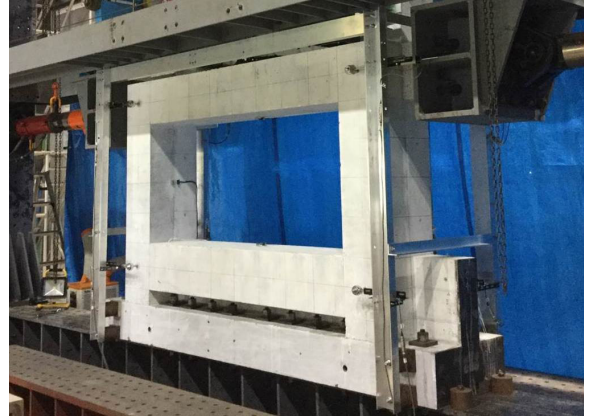
FAX.03-3553-5601

TEL.06-6944-0795

FAX.06-6910-6536



施工例（黄色の囲み部分が施工箇所）



補強性能検証実験状況

概要

スマートピタ工法は、既存建築物の外側に主要構造体として鉄骨およびコンクリートからなる補強部材を直接接合することで、建築物の耐力の向上を図る外付け耐震補強工法である。 ※（一財）日本建築総合試験所 性能証明取得工法

特長

1. 建築物の景観を保持

本工法で用いるフレーム型補強体は、従来工法で慣用されるブレース材とは異なり、補強部材により開口部が閉塞されないのが大きな特長である。このため、採光や出入り口を妨げることがなく、外観が大きく変化しないという長所がある。

2. 居ながらの施工が可能

施工時に退避施設が不要であり、コスト削減、現場施工期間の短縮につながることから、事務所や集合住宅、宿泊施設等に最適な耐震補強工法である。

3. 地域を問わず施工が可能

普通コンクリートを用いるため、地方のコンクリートプラントでも出荷が可能である（コンクリート強度：30N/mm²程度）。

4. 施工中の騒音・振動を低減する方法を選択可能

低騒音・低振動の施工が求められる場合、あと施工アンカーの代わりに「ディスクシアキー」[※]を用いることができる。ディスクシアキーを用いた場合、接合面の目荒し作業の省略や、設置数の削減等により、工事の騒動・振動を低減できる。

※「ディスクシアキー」：飛鳥建設(株)、(株)大本組、サンコーテクノ(株)の3社が、(一社)建築研究振興協会にて技術性能評価を取得した耐震補強用の接合材。

5. 在来SRC構造と比べて収まりが簡素化

在来のSRC構造と比べて主筋がない（割裂防止筋を固定するための定着のない材軸方向筋はあり）ため、特に柱梁交差部で配筋が簡素となり、施工性や品質が向上する。

